

保健相談センター
だより

保健相談センター
☎(235)7880

**子宮頸がん予防ワクチン
接種再開のお知らせ**

～中学1年生から
高校2年生の方へ～
接種が再開されました

ワクチンの供給不足により差し控
えられていた子宮頸がん予防ワクチ
ンの接種が、中学1年生から高校2
年生の全ての学年を対象として7月
20日から再開されました。接種希望
の方は、予防接種実施指定医療機関
でお受けください。

- ▼**持ち物** 保険証・母子健康手帳・
予診票（海老名市予防接種実施指定
医療機関にあります）
- ▼**接種回数** 3回
- ▼**接種間隔** 1回目の接種を0月と
して以降1カ月後、6カ月後に接種



※海老名市に住民登録（外国人登録
を含む）がある方が対象です。
※予防接種実施指定医療機関は、4
月に全戸配布した「えびな健康だよ
り」をご覧ください。

**健康えびな普及員会主催
健康教室**

「カラーコーディネイト教室」

- ～自分に合った色探し～
- ▼**日時** 8月29日(月)10時～12時（受
け付けは9時45分から）
 - ▼**会場**
国分コミセン
 - ▼**対象・定員** 市内
在住の方・先着20人（事前申込制）
 - ▼**持ち物** 健康手帳（お持ちの
方）・筆記用具
 - ▼**費用** 無料
- ※2歳以上（若干名）の託児あり。
事前予約制。

**食生活改善推進団体えびな会主催
食育講座**

- ①ちびっこ弁当講座
- ▼**日時** 9月5日(月)10時～12時30分
（受け付けは9時45分から）
 - ▼**内容**
簡単な子どものお弁当作り
 - ▼**対象・定員** 子育て中の保護者・先着
30人
 - ▼**持ち物** エプロン・三角きん
（バンダナ可）・ふきん
 - ▼**費用** 500円
 - ▼**申し込み** 8月5日(金)
から受け付け開始
- ※1歳以上（若干名）の託児あり。
事前予約制。

**市民健康講座
腰痛と肩こりのお話し**

- ▶**日時** 8月27日(土)14時～16時
- ▶**会場** 海老名市医療センター
（さつき町41番地）
- ▶**演題** ①「腰痛のお話し」講師／えびな整形
外科院長・山田博之氏
②「姿勢と健康～腰痛・肩こり～解消
法」講師／海老名総合病院理学療法士・
星倉博文氏
- ▶**定員** 先着60人
- ▶**参加費** 無料
- ▶**申し込み** 直接または電話で、海老名市医師
会事務局 ☎(234)3241（平日9時
～17時）へ。

【訂正】
本誌7月15日号17面掲載「弘道お兄さんと一緒に親子では
つらつ体操」の費用に誤りがありました。正しくは、費用
負担なし、参加賞ありです。お詫びして訂正します。

②ヘルシークッキング

- ～食事バランスとコレステロール～
- ▼**日時** 9月14日(水)9時30分～12時
30分（受け付けは9時から）
 - ▼**内容** 講話（コレステロールと上手に
付き合う食事のコツ）と調理実習
 - ▼**対象・定員** 市内在住、在勤の方・
先着30人
 - ▼**持ち物** 健康手帳（お
持ちの方）・筆記用具・エプロン・
三角きん（バンダナ可）・ふきん
 - ▼**費用** 500円
- ※①②ともに、会場は保健相談セン
ター2階栄養指導室、申し込みは直
接または電話で保健相談センターへ。

海老名の民話を元にした、むかしばなしを紹
介します。市の歴史や土地にまつわる伝説など
を通して、海老名をより身近に感じていただき
たいと願い、お子さんでも読みやすいよう、漢

字にはふりがなをふりました。ぜひ、一緒に
楽しみください。なお、市ホームページ内「え
びな文化財探求舎」でも、海老名の民話を紹介
しています。

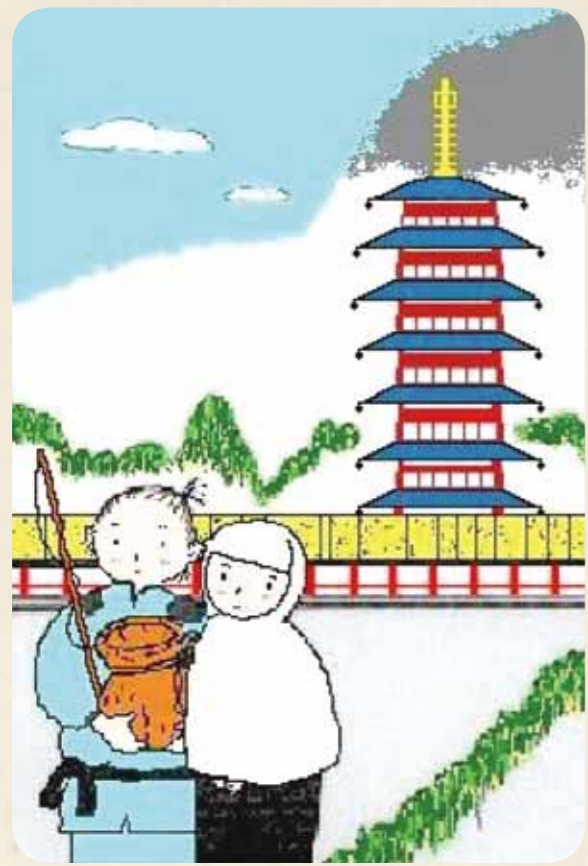
海老名むかしばなし

**あま なぎ みず
尼の泣き水**

いまから千二百年もの遠い
昔のお話です。
天平十三年、聖武天皇は、
人々の平和な生活を願って、
国ごとに国分寺と国分尼寺を
建てるように命じました。相
模国では、海老名がよい土地
であったのでここに建てられ

ることになりました。
やがて、天をつくような七
重塔を始めとした国分寺がで
き、そこから北に五百メー
トルほど離れた場所に国分尼寺
ができました。

そのころ、国分寺の下を流
れる相模川で、魚を取って暮



らしていた若い漁師がいまし
た。その漁師はいつしか国分
尼寺の尼さんと知り合い、た
がいに愛し合うようになりま
した。

尼さんは結婚が禁じられて
いましたので、二人はみんな
に見つからないようにひっそ
りと会っていました。ある日
のこと、若者がだまりこくつ
て困った顔をしているので、
尼さんは「どうしたのですか。
何か心配ごとでもあるのです
か」とたずねました。若者は

「火事だー。火事だー。国分
寺が燃えているぞー」
漁師のことを思うあまりに
尼さんが国分寺に火をつけた
のです。一度燃え始めた国分
寺は、消すこともできず、一
晩のうちに焼けてなくなりま
した。

尼さんはとらえられ丘の上
に生き埋めにされ、のこぎり
引きの刑になってしまいました

なかなか口を開かなかつたの
ですが、やがて決心し、「じ
つは、国分寺があまりにまぶ
しく輝くので魚が遠くへ逃げ
てしまい、漁をしても魚がと
れないのです。それで困って
いるのです。あの国分寺さえ
なければ・・・」と涙を話し
ました。尼さんもどうするこ
ともできないので、だまって
しまい、二人はさびしそうに
その場は別れていきました。

その夜のことで

その後、不思議なことに、
その場所から一てき二てきと
わき水が流れ出してきました。
村人は、尼さんが罪をわびて
流している涙だといって、そ
のわき水を「尼の泣き水」と
呼びました。

尼さんがおしおきされた丘
は、現在の海老名小学校の上
の台地です。尼の泣き水は、
昭和四十年ごろまで流れ出
ていましたが、まわりに家が
できたりしたので、いつとなく
かたまってしまいました。